

教科〔分野〕	技術・家庭科〔技術分野〕	履修学年	第2学年	指導時間	#REF! 単位時間	担当者	長澤 靖	
使用教科書	新しい技術・家庭技術分野 (東京書籍)	補助教材	学習ノート エネルギー変換 生物育成 (広学図書)					
目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。							
評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫創造する能力		生活の技能		生活や技術についての知識・理解		
趣旨	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術について関心を持ち、技術の在り方や活用の仕方等に関する課題の解決のために、主体的に技術の評価し活用しようとする。	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見付けるとともに、その解決のために工夫し創造して、技術の評価し活用している。		材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術を適切に活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。		材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術について基礎的・基本的な知識を身に付け、技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。		
評価資料	○授業観察 ○学習達成状況 ○ワークシート	○ノート活用状況 ○学習記録 ○ワークシート		○作品 ○作業		○定期テスト ○小テスト ○ワークシート		
言語活動を取り入れる場面等	○学習発表 ○試験問題							
指導計画								
月	単元又は題材	時数	学習内容		評価の観点及び評価規準			
4	C 生物育成に関する技術 (1) 生物の生育環境と育成技術について。	6	ア 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知ること。		生活や技術についての知識・理解	・光、大気、温度、水、土、他の生物などのいろいろな環境要因が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。 ・生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法についての知識を身に付けている。		
5		2	イ 生物育成に関する技術の適切な評価・活用について考えること。			生活や技術への関心・意欲・態度	・生物育成に関する技術の課題を進んで見付け、適切な解決策を示そうとしている。	
		3学期小計 (9)	言語活動 生物育成に必要な条件について知り、命の尊さを考え自分の言葉で発表できる。		生活を工夫創造する能力	・生物育成に関する技術の課題を明確にし、適切な解決策を見いだしている。		
6	B エネルギー変換に関する技術 (1) エネルギー変換機器の仕組みについて。	4	ア エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知ること。		生活や技術についての知識・理解	・社会で利用されている機器等における、エネルギーの変換、制御、利用についての知識を身に付けている。		
		4	イ 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができること。		生活の技能	・機器の点検すべき箇所を見付け、保守点検と事故の防止ができる。		
		3	ウ エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考えること。		生活や技術についての知識・理解	・機器の構造や電気回路、各部の働き及び使用方法についての知識を身に付けている。		
期末テスト		1			生活や技術への関心・意欲・態度	・エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから適切な解決策を示そうとしている。		
7		1学期小計			生活を工夫創造する能力	・エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、社会的、適切な解決策を見いだしている。		
9	(2) エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作について。	4	ア 製作品に必要な機能と構造を選択し、設計ができること。		生活や技術への関心・意欲・態度	・省エネルギーや使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。		
10		9	イ 製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検ができること。		生活を工夫創造する能力	・製作品の使用目的や使用条件を明確にしより効率の良い方法を考えようとしている。		
11			言語活動 自然環境・エネルギーの利用について、自分の生活を振り返り発表できる。		生活の技能	・設計に基づき、安全を踏まえた製作品の組立て・調整を行うことができる。		
12					生活や技術についての知識・理解	・組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法についての知識を身に付けている。		
(2) デジタル作品の設計・制作について。		1	ア メディアの特徴と利用方法を知り、制作品の設計ができること。		生活や技術への関心・意欲・態度	・新しい発想を生み出しデジタル技術を活用しようとしている。		
		2	イ 多様なメディアを複合し、表現や発信ができること。		生活を工夫創造する能力	・デジタル作品の使用目的や使用条件を明確にし、作品に適したメディアの種類やデジタル化の方法などを決定している。		
		1学期小計 (18)	言語活動 コンピュータの機能、使い方について必要な用語を使い説明できる。 コンピュータを使い分かりやすく表現できる。		生活の技能	・メディアの素材の特徴と利用方法や、適切なソフトウェアを選択し、などについての知識を身に付けている。 ・設計に基づき、適切なソフトウェアを用いて多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。		
先生か	学習の進め方 (学習方法、 学習形態等)	(1) エネルギー変換に関する技術 ○エネルギーの変換機器の仕組みと保守点検を学習する ・電気室で実物見本観察を含めエネルギー変換方法や力の伝達の仕組みを学習する ○エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計と製作 ・電気室、個人で省エネ、便利な製品の組み立てる。 ・グループで原理図や電気回路の配線・点検を行う。						

らの アド バイ ス		<ul style="list-style-type: none"> ・フルードで調整で電気回路の配線・点検を11フ。 <p>(2)生物の生育環境と育成技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作物の栽培
	学習上の留意点 受講上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○授業道具（教科書、ワークノートなど）を必ず持参する ○提出物は100%出し切る ○実習では、工具や機械の使い方をよく聞き、適切に使用する ○怪我や火傷に気をつける ○指示のない限り、勝手に機械を操作しないこと